

名誉教授 久次智雄 略歴

- 1930年7月13日 東京で出生
- 1950年3月 第1高等学校理科甲類卒業
- 1957年3月 東京大学理学部数学科卒業
- 1957年4月 総理府統計局に勤務
以降、統計局調査部労働力統計課、消費統計課、国勢統計課
に順次勤務
- 1972年12月 内閣総理大臣官房参事官兼総理府統計局調査官
- 1973年4月 小樽商科大学商学部教授
- 1992年3月 退職
- 1992年4月 小樽商科大学名誉教授

この間の一部の期間、小樽商科大学短期大学部非常勤講師を兼任、大学院商学研究科担当（1981－）、計算センター室長（1982－1986）を併任、北海道道民所得調査委員会委員（1980－1987）、北海道道民経済計算調査委員会委員（1987－1991）を委嘱される。

名誉教授 久次 智雄 業績表

〈著書〉

- (1975) 「演習統計概論」(森田優三氏と共著), 日本評論社
- (1993) 「新統計概論 改訂版」(森田優三氏と共著), 日本評論社
- (1993) 「スタディガイド 統計概論」(森田優三氏と共著), 日本評論社
(「演習統計概論」の改訂版), (刊行予定)

〈論文・報告等〉

- (1959) 「不重複 2 段抽出の一方法について」(総理府) (統計局研究彙報)
- (1964) 「アメリカの毎月人口調査の再調査計画」(統計局研究彙報)
- (1965) 「労働力調査と就業構造基本調査との就業状態の比較」(統計局研究彙報)
- (1966) 「国政調査調査区の層別および確率比例抽出の効果」(統計局研究彙報)
- (1969) 「ラスパイレス型の連鎖基準物価指数」(井出満氏と共著) (統計局研究彙報)
- (1970) 「諸外国の消費者物価指数および住宅の扱いについて」(統計局研究彙報)
- (1971) 「国連の新しい国民経済計算体系 (新 SNA) について」(統計局研究彙報)
- (1972) 「マイクロコンピューター SOBAX ICC -2700 のプログラム作成手法について (その 1)」(統計局研究彙報)
- (1972) 「同前 (その 2)」(統計局研究彙報)
- (1972) 「標本設計の最適性についての一考察」(統計局研究彙報)
- (1975) 「2 つの交代質問を用いるランダム回答法」(商学討究)
- (1976) 「乱数の個数に関する順序統計量の分布 (I)」(商学討究)
- (1985) 「費用曲線等の一例示」(商学討究)
- (1992) 「日本人口の地域的分散度」(商学討究)